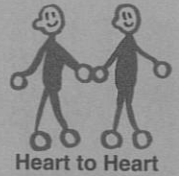


ともしび通信

コープともしびボランティア振興財団



〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3番20号(生活文化センター西館2階)
TEL 078-412-3930 FAX 078-412-3871 http://www.tomoshibi-found.or.jp/
発行人=櫻井 啓吉 編集人=秦 正雄



第70号
2012年1月発行

研究助成 還元講座

〜学んで わかって 寄り添って〜

「ボランティア活動における発達障がいへの理解と支援」を開催

子どもに関わる活動現場や社会生活のなかで、発達障がいへの対応に悩む方が多いように思われます。当財団では10月18日・25日、11月15日・29日の全4回、ひょうごボランティアプラザにて「ボランティア活動における発達障がいの理解と支援講座」を開催しました。講師の赤堀富子氏は神戸市垂水区で描画指導を通して子どもを育て、一般社団法人クルレを主宰され、当財団の2009年度調査研究助成を活用されました。

大変さを理解し、寄り添う気持ちが必要である、ということ。

子どもとの関わり方にルールを決めて対応することを学びました。

通常発達の子どもの親からの質問には「障がいの周囲がどう接するかで生きやすさが変わってくる。通常発達の子の保護者が学校

に『自分の子どもを偏見のない子に育てたい』と伝え、そのためにどう関わっていけばいいのかを一緒に考えてもらってほしい」との助言をいただきました。障がいの者の描画作品を交えながらのお話はとてもわかりやすく、参加者からは「疑問に思っていたことが理解できた」と感想をいただきました。

第3回「地域で生きる子どもたちの環境をより豊かなものにするために」では、10年後の子どもの成長をイメージし、幼少期から言葉かけや生活習慣に気を配り、社会体験を意識することの重要性を学びました。

第4回「発達障がいの行動への活動の働きかけをアートをを通して」では、描画教室の作品を見ながら、子

「2012年度ボランティア活動助成申請説明会」を開催

コープともしびボランティア振興財団では、みなさんからの寄付や募金、賛助会費などをもとに、兵庫県内で継続的にボランティア活動をおこなっているグループ(または個人)に助成を実施しています。環境分野には、コープこうべから寄付された買物袋代金の一部を活用しています。

昨年12月、県内8会場
で2012年度申請希望者対象の申請説明会を開

催しました。説明会終了後は、各団体の活動紹介や情報交換をおこなうミニ交流会を開催しました。

第1回「子どもとのかかわりの中で気付くこと」では、発達障がいについて、認知と行動に凸凹の特徴があるため社会生活に適応しにくく、本人や周囲が困ってしまうことがわかりました。

